

木曾郡内の小学校で赤かぶの栽培からすんきづくりまでの授業を行いました

令和5年8月から12月まで、郡内の小学校5校で「信州の伝統野菜」である赤かぶの栽培、すんきづくりの授業を行いました。

講師は長野県農村生活マイスター協会木曾支部、JA 王滝女性部、木曾農業農村支援センター等が務め、各小学校の地域で栽培されている赤かぶの栽培体験を行いました。

授業内容は伝統野菜とはどんな野菜で木曾地域にはどんな伝統野菜があるかを勉強した後、地域の赤かぶ栽培者から指導を受けながら播種、収穫を行い、自分たちが育てたかぶですんきを作りました。

いずれの小学校でも児童の真剣に取り組む姿が見られ、自分たちの地域の赤かぶやすんきに興味を持ってくれたようでした。

